

事業所名 もものお庭

公表: 令和 年 月 日

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が保育室等スペースとの関係で適切であるか		1	5	利用児童が多い場合、部屋分けを行ったり、時間で区切るなどして、活動空間の入れ替えを行っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか		2	4		配置基準以上の人員はいるが、児童発達支援利用児と放課後等デイサービス利用児の入れ替わり時や、送迎業務などで、一時的に余裕がない場合がある。業務スケジュールの見直しや、タイムテーブルの計画・確認を密に行う。その他、サービス提供の時間帯や、利用日の調整を行い、人員配置と利用児童とのバランスに配慮している。
	③ 障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1			
	④ 写真、イラストなどの視覚支援を使い、この部屋で何を、どこに物を片づけるなど、子どもにわかりやすいよう配慮されているか。	6			利用児童の様子に合わせた大きさの視覚支援カードを作成し、ホワイトボード等に張り出し、活動予定や、その時々に必要な順序の確認を行っている。	
	⑤ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1		5		夏季休暇等、放課後等デイサービス利用児童が多く利用する日は、空間が狭く感じてしまう。 ①と同様の工夫をしたり、活動内容に応じた買う有漢整備を行っている
業務改善	⑥ 業務改善を進めるため、目標設定と振り返りを職員同士で話し合い、共有しているか。	6				
	⑦ 保護者向けに、事業所の評価アンケートを実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	6				
	⑧ 事業所向け自己評価表、保護者向け評価表の結果を踏まえ、課題や改善すべき点を話し合い、その評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				
	⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	5		
	⑩ 職員の資質の向上を行うために、研修等の機会を確保しているか	1	5			コロナ禍の影響で予定していた研修が実施できないことがあった。

適切な支援の提供	⑪	子ども、保護者の要望や課題を十分に聞き取り、客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6				
	⑫	子どもの特性、行動の状況を図るために、発達検査や知能検査等の情報を確認しているか。	6				
	⑬	個別支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 また、個別支援計画に沿った支援が行われているか。	1	5			利用児童の様子を全職員で共有し、個別支援計画を立てている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6				習慣に関する内容については固定化している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成しているか。	6				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				
	⑱	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	5			当日中に振り返りを行う時間が取れないが、翌日の業務開始前等に時間をとっている。その他、各職員間での共有を行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1	3	2		基本的には当日中に記録を残しているが、できない場合には翌日中に残すようにしている。
	⑳	定期的に支援の振り返りを行い、療育内容、支援の見直しを行っているか	6				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	5			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6				
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	5			
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		3	3		
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4	2		
	㉖	自立支援協議会、子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		4	2		
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				

	⑳ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		6			プログラム化はしていないが、相談等があった場合は都度の対応をしている。
	㉑ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	5			利用契約時に説明している。
	㉒ 個別支援計画の支援内容を説明し、支援内容、計画の同意を得ているか	6				
	㉓ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				
保護者への説明責任等	㉔ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	㉕ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
	㉖ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6				
	㉗ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	㉘ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3		
	㉙ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	4			各種対応マニュアルを作成しているが、周知が完了していない。
非常時等の対応	㉚ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	4			
	㉛ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6				
	㉜ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	6				
	㉝ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	2	3		事案の記録は残し共有し、その他の想定を協議しあっているが、事例集にはしていない。
	㉞ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	2		代表者が研修に参加し、事業所内に周知するようにしている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。